

令和元年度

民間園長研修会



日時* 令和元年十月二十四日(木)
十月二十五日(金)

会場* ホテルセンチュリー静岡

秋深まりの小雨の日、二日間で行われ、東部中部西部の民間施設長一九〇人を迎え開催されました。テーマ『今こそ子どもの最善の利益を見つめ直す時』民間園長の資質向上を目指す』子どもの権利条約が国連で採択されてから三〇年が経過し、子ども・子育て支援制度も見直しの時期を迎えた今、園の役割はこれまで以上に重視されてきています。より質の高い保育・教育を提供し、かつ安定した施設管理を行うため、民間園長会の果たすべき役割を再認識し、研鑽をしました。

開講式には、土山会長より今年度の状況情報をお話していただきました。



一日目
【講義①】
『保育行政の動向について』
静岡県健康福祉部こども未来課長
山本 智ひろ氏
先の台風一九号の被害状況や人口動態からの制度過程、消費税一〇%増税、幼児保育の無償化等新しい制度と合わせてお話を頂きました。



ひろ氏



【講義②】
『質の高い保育・幼児教育に向けての現状と課題』

おおわだ保育園 理事長

馬場 耕一郎氏

少子化の進行と人口減少社会、堅い講義かと思いきや、ポイントを踏まえて軽やかな口調と活気でお話が進み、大変興味深く聞き入ることが出来ました。保育所保育に関する基本原則では、保育の環境で、安全の確保、温かな雰囲気の大切さを子どもの状況と合わせ

てわかりやすく説明して下さいました。今後の展望では、保育士の業務負担軽減に関する事業については、課題も見えてきました。



二日目

【講義③】

『子どもの最善の利益とは何か〜子どもも権利条約の原点 コチャック先生から学ぶ〜』
一般社団法人日本保育者支援協会

スーパードバイザー

新保 庄三氏



「親になれからの支援のあり方についてお話がありました。子どもは、希望と夢を持って自分の世界に生きる、自らの個性を持つ人間です。改めて子どもについて十分な意識の中で育てられないければならない事に責任を持ちました。」

懇親会では、各園同士の交流を深めることができ、貴重な時間と空間を共有いたしました。充実した研修会、今後に活かしていきます。